

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、消化器・一般外科では、京都大学肝胆膵・移植外科と共同で実施する下記研究のために、本学で保管する下記の残余検体・診療情報等を下記代表責任研究機関に対して提供しています。

この共同研究の詳細をお知りになりたい方は、下記の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは代表責任機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での問い合わせ担当者もしくは代表責任機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名] 細胆管細胞癌の臨床病理学的特徴とその臨床的意義

[共同研究の代表責任機関及び研究代表者]

代表責任機関・京都大学肝胆膵・移植外科 波多野悦朗

本研究に関する問い合わせ先：東京女子医科大学 消化器・一般外科 有泉俊一

電話：03-3353-8111 内線25116（応対可能時間：平日9時～16時）

Eメール：ariizumi.shunichi@twmu.ac.jp

[利用・提供の対象となる方]

2005年1月～2018年12月までの間に、当院消化器・一般外科科において細胆管細胞癌と診断され、診断・治療を受けられた方

[利用・提供している残余検体・診療情報等の項目]

残余検体：病理診断後の肝組織

診療情報等：診断名、年齢、性別、肝機能検査、入院日、手術日、病理組織所見 等。

[利用・提供の目的]（遺伝子解析研究：無）

細胆管細胞癌（cholangiolocarcinoma: CLC or cholangiolocellular carcinoma: CoCC）は原発性悪性腫瘍の一つで、非常に稀な疾患です。そのため、その特徴や手術術式を含めた治療方法はいまだ明らかにはなっていません。また、CLCの診断や病理学的な分類は非常に難しく、一定の見解が得られていません。この研究は、CLCの臨床病理学的特徴を明らかにし、その臨床意義を明らかにすることを目的とします。原発性肝癌における分類の確立、外科的標準術式の確立に結びつくと考えています。

[主な共同研究機関及び研究責任者]

1. 京都大学 肝胆膵・移植外科 教授 波多野悦朗
2. 国際医療福祉大学成田病院 病理診断科 准教授 小無田 美菜
3. 久留米大学 病理診断科・病理部 教授 秋葉 純

[利用・提供期間および主な提供方法]

期間：倫理審査委員会承認後より2027年12月20日までの間（予定）

提供方法： 直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他（ ）

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、どなたのものなのかかわからないように安全管理措置（匿名化）をしたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：消化器・一般外科 教授 本田 五郎

研究内容の問い合わせ担当者：消化器・一般外科 准教授 有泉 俊一

電話：03-3353-8111（内線25116）（応対可能時間：平日9時～16時）

ファックス：03-5269-7435 Eメール：[ariizumi.shunichi@twmu.ac.jp](mailto:ariizumi.shunichi@twmu.ac.jp)